



基金の使途（対象事業）

安心・安全面からの環境整備

教育環境の維持および充実

先導的研究・実践などの充実

教育実習の充実

その他基金の目的達成に必要な事業

寄付の手続きについて

鹿児島大学ホームページの「鹿大『進取の精神』支援基金について」ページ

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/cat1352/post-19.html> の、基金の種類に掲載の「教育学部附属学校園基金」から手続きができます。寄附金領収書、税制上の優遇措置について掲載されていますのでご参考にしてください。



よりよい未来を創る園児・児童・生徒の育成のために

鹿児島大学
教育学部 附属学校園
基金

鹿児島大学 教育学部附属学校園

よりよい未来を創る園児・児童・生徒の育成のために

鹿

児島大学教育学部附属学校園（附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校）は「実験的・先導的な学校教育」「教育実習の実施」「大学・学部における教育に関する研究の協力」の3つの使命・役割を果たすための教育研究に取り組みながら、長い歴史の中で、卒園生、卒業生を輩出してきました。今後もその使命・役割のもとに県内のモデル校としての取組を続けて参りますが、国立大学を取り巻く厳しい財政状況の波は附属学校園にも一様に押し寄せており、使命・役割を果たすための基盤となる施設環境や教育環境の維持を困難とする状況が迫っています。

このような中、附属学校園の施設環境や教育環境の維持および充実を図るために本基金を設置いたしました。

つきましては、今後も使命を果たし、未来の鹿児島を担う人材を育成するために支援いただきますようお願い申し上げます。



鹿児島大学
教育学部

附属幼稚園

明治12（1879）年創立、令和元年度に創立140周年を迎えた全国で2番目に古い歴史をもつ幼稚園です。自然豊かな広い園庭を活用した「自由感あふれる保育」を推進しながら、大学との共同研究や鹿児島県の幼稚園教育の向上を目指した理論的・実践的研究を行っています。このほか、「預かり保育」や未就園児の親子を対象とした「どんぐりクラブ」、「地域園庭開放」を実施し子育て支援の充実を図るなど、地域貢献にも努めています。

餅つき大会より



鹿児島大学
教育学部

附属中学校

昭和26（1951）年5月に伊敷町で開校、山下町を経て、昭和38年に現在地に移転し、令和3年度に開校70周年を迎えます。自主自律の精神に基づき、学業はもちろん、運動会や文化祭、生徒会活動など生徒が主体的に活動する学校であり、これまで、様々な分野で活躍している人材を輩出しています。平成25年度に台湾の大直高級中学と姉妹校提携を結び、生徒・教職員の相互交流を図るなど、国際理解教育にも力を入れています。

文化祭より



鹿児島大学
教育学部

附属小学校

「夢や目標をもち、共にみがき高め合う子どもの育成」という学校教育目標を、「Reach for the stars together!」の合言葉に込めて児童と共にしながら、日々の教育活動に取り組んでいます。創立143周年の歴史と伝統の中で受け継がれてきた様々な学校行事や体験的な活動を重視した教育活動とICTを活用した教育活動をはじめとした時代のニーズに対応した先進的な教育活動の両立に努めながら、知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努めています。

運動会より



鹿児島大学
教育学部

附属特別支援学校

昭和55（1980）年の開校以来、大学の附属学校として、「大学との先進的な共同研究」と「教育実習による人材育成」という大きな使命を果たしながら、特別な支援が必要な子どもたちの自立と社会参加をめざし、小・中学校部、高等部までの一貫性・系統性のある指導に取り組んでいます。また、一人一人のニーズを丁寧に把握し、本人や保護者、関係者の思いや願いをきめ細やかに指導・支援につなげるために、日々の授業研究に力を注いでいます。

小学部かんげいかいより